

みずほCustomer Desk Report 2017/01/16 号(As of 2017/01/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	115.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.68	1.0616	121.76	1.0103	1.2153	0.7488
SYD-NY High	115.45	1.0675	122.41	1.0120	1.2233	0.7508
SYD-NY Low	114.18	1.0596	121.66	1.0043	1.2122	0.7449
NY 5:00 PM	114.55	1.0644	121.87	1.0098	1.2175	0.7504
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.585/13.035		△25RR	0.858	Yen Call Over	

NY DOW	19,885.73	▲ 5.27	債券市場	日本2年債	-0.2220	▲0.1bp
NASDAQ	5,574.12	26.63		日本10年債	0.0500	1.0bp
S&P	2,274.64	4.20		米国2年債	1.1931	2.0bp
日経平均	19,287.28	152.58		米国5年債	1.8970	3.1bp
TOPIX	1,544.89	9.48		米国10年債	2.3964	3.3bp
シカゴ日経先物	19,345	120.00	為替市況	独10年債	0.3380	2.2bp
ロンドンFT	7,337.81	45.44		英10年債	1.3640	6.5bp
DAX	11,629.18	108.14		豪10年債	2.6910	2.4bp
ハンセン指数	22,937.38	108.36		USD/CNH	6.8430	▲0.0167
上海総合	3,112.76	▲6.53		ドルインデックス	101.18	▲0.17
USDJPY 3M Vol	12.71	▲0.28%	商品市況	CRB指数	194.540	▲0.43
USDJPY 6M Vol	12.59	▲0.22%		NY金	1,196.20	▲3.60
EURJPY 3M Vol	10.57	▲0.40%		WTI	52.37	▲0.64
EURJPY 6M Vol	12.23	▲0.34%		Dubai Spot	53.93	0.59

東京	東京時間のドル円は114.68レベルでオープン。イエレンFRB議長より「労働市場は力強く、インフラ率も2%に極めて近い」など、米経済に強気な姿勢が示されるとドル円は115円超えまで上昇する展開。その後、中国12月貿易収支が発表され、輸出が市場予想比大きく落ち込む結果となり、貿易黒字額が前月対比縮小したものの、マーケットの反応は限定的であった。午後に入り、一時115.19を付ける場面が見られたものの引き続き上値は重く、その後徐々に押し戻される形で114円台後半まで下落すると、結局114.87レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は114円台半ばでレンジ推移。朝方は114.87レベルでオープン。米長期金利が低下する中で全般的にドルが軟調推移。ドル円もこの動きを受け114円台半ばで上値重い展開となり、114.49レベルでNYへ渡った。ポンドドルは一時1.22台前半まで上昇したものの、その後1.21台後半まで反落。朝方は1.2150レベルでオープンし、ロンドン時間序盤のドル安の流れを受けポンドドルは高値1.2233まで上昇。ユーロポンドが0.87ちょうど手前で下げ止まると、ポンドドルも上値が重くなり1.21台半ばまで反落し、1.2173レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は114円台後半で方向感の出にくい推移となり、114.49レベルでNYオープン。年末ホリデーシーズンの売り上げ減少を受けて米大手小売が大規模な閉店を実施するとの報道もあり、米小売指標が予想を下回るとの見方もある中、ドル売りが先行しドル円は安値の114.18まで下落。しかし、自動車・オンライン売上が好調であったことから、米12月小売売上高(速報)は予想を若干下回ったものの、前回値が上方修正されたことからドル円は114.92まで急伸する。この水準では短期投資筋などからの利益確定売りなどもあり114.60付近まで下落するが、米長期金利が一段と上昇するドル円は高値115.45まで上昇。その後は115円台前半で揉み合いとなるが、米1月シガン大学消費者マインドが予想を下回ったことや、米長期金利の低下を受けてドル円は114円台半ばまで下落。その後もプラス圏で推移していたダウがマイナス圏に転じたことを受けてドル円は上値重い推移となり、114.55レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.0645レベルでNYオープン。朝方高値1.0675を付けるが、底堅い米小売指標を受けて1.0596まで下落。その後、米長期金利の低下を受けてドル売りが強まり、ユーロドルは1.0652まで値を戻し、1.0644レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月13日	-	中	貿易収支	12月 \$40.82B \$47.55B
	8:50	日	対外・対内証券投資	-
	9:00	米	イエレン・FRB議長講演	-
	11:45	中	貿易収支	12月 \$40.82B \$47.55B
	11:45	中	輸出/輸入(前年比)	12月 -6.1%/3.1% -4.0%/3.0%
	22:30	米	小売売上高(前月比)	12月 0.6% 0.7%
	22:30	米	PPI(前月比/前年比)	12月 0.3%/1.6% 0.3%/1.6%
	22:30	米	PPIコア(前月比/前年比)	12月 0.2%/1.6% 0.1%/1.5%
1月14日	0:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	1月 98.1 98.5

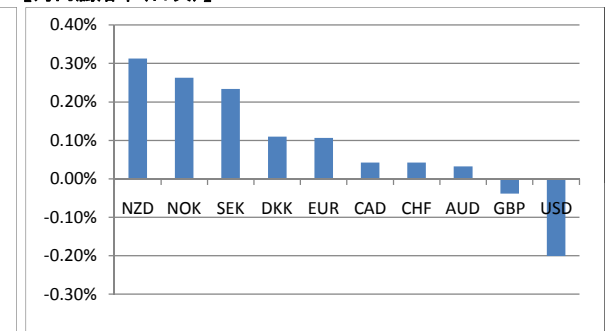
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月16日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	11月 -1.4%/8.1% 4.1%/-5.6%
	19:00	欧	貿易収支	11月 €20.8B €19.7B
	-	米	NY市場休場	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.70-114.70	1.0580-1.0680	121.00-122.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外市場のドル/円相場は上に往って来いの展開。北米時間に発表された米12月小売売上高が若干市場予想を下回ると一時安値114.18を付けたものの、その後米金利の上昇に引っ張られる形で115円台を回復。米1月シガン大学消費者マインド(速報値)が発表されたタイミングで高値115.45まで上昇したものの、米金利が徐々に上昇幅を縮小する展開となると、ドル円相場も114円台半ばまで反落して引けた。本日は狭いレンジ内での値動きを予想する。本日はNY市場休場であり、また特段目立った材料も予定されていないため、動きづらい展開が続くと考えている。ただし、翌日にメイ英首相よりブレグジットに関するスピーチを控えている等、マーケットの雰囲気としては上値の重さが意識される局面であるため、方向感としてはやや下向きの目線で臨みたい。